

産業・学校保健実習	4年・前期	2単位2週間	教授 島田 昇 他
科目カテゴリー	看護提供のあり方	科目ナンバリング	33420984

1. 授業のねらい・概要

学生は地域に生活する人々の健康を維持・増進し、健康問題を改善し健康課題に取り組む事業所と学校、発達支援施設を実習拠点として、どのような法令のもとに保健事業が実施されているかを考察することができることを目的とする。併せて、保健・看護活動を計画、実施、評価する方法と技術を習得する。

2. 学修の到達目標

1. 産業の場における健康問題を知り、健康管理部署の役割、機能を説明できる。(D-2)
2. 労働環境が健康に及ぼす影響について説明できる。(D-2)
3. 成人期の健康問題について、労働環境、個人の価値観を踏まえながら、家族の役割も考えた支援の方法を説明することができる。(D-2)
4. 地域保健活動と学校保健との連携を説明できる。(D-2)
5. 児童・生徒の健康問題を説明できる。(D-2)
6. 養護教諭および保健室の役割、機能を説明できる。(D-2)
7. 就学期における子どもたちの健康問題を説明できる。(D-2)
8. 乳幼児期から成人期、老年期までの一貫したライフサイクルの中で就学期の重要性を捉え、健康支援のあり方を説明することができる。(D-2)
9. 発達支援施設の概要について説明できる。(D-2)
10. 乳幼児健診から発達支援施設への連携、さらに就学への支援を説明することができる。(D-2)
11. 発達支援が必要な乳幼児の母親の支援を説明することができる。(D-2)

3. 授業の進め方

実習については学生の希望をとるが、実習施設の最終決定は、学生の実習目標と各施設の実習受け入れ人数とを照合して調整する。産業実習においては産業保健の実態と実際を学ぶため、事前に事業所の概要について記録用紙に沿って調査する。小学校実習においては児童・生徒への健康管理と健康教育および健康指導について学ぶ。そのため事前に小中学校の概要と学童期および青年期の健康課題を記録用紙に沿って調べてまとめる。

【アクティブ・ラーニング実施の有無】

アクティブ・ラーニング型科目（実習）である。

【ICT活用の有無】

ICT活用の実施：Google Classroomによる実習事前課題の提示。Gmailによる実習事前課題の様式、実習記録用紙の配信。

4. 授業計画（実習/実技）

1. 事業所見学実習：県内事業所にて行う。
2. 群馬県内小中学校実習
3. 地区踏査、保健事業関連法令の事前学習等の具体的内容は、実習要項に準ずる。
4. 実習のまとめと発表

5. 成績評価の方法・基準

臨地実習の出席が実習期間の4/5以上であること。

実習評価（事前学習・実習態度・記録・事後レポート）（80%）、実習評価試験（20%）により総合的に評価する。合格基準は60%以上。どちらか一方でも合格基準に満たない（60%未満）場合は、単位認定できない。

出席、実習評価、実習評価試験のすべての基準を満たしていない場合は、単位認定できない。

成績評価は、「2. 学修の到達目標」に示した達成状況を、ルーブリック評価表を基に、5段階評価で採点する。尚、ルーブリック評価表に関する詳細については、初回オリエンテーションにて別途説明する。

臨地実習の評価は、産業・学校保健実習評価表に基づいて評価する。

6. テキスト・参考文献

テキスト：公衆衛生看護学や産業保健、学校保健の授業で使用したテキスト

参考文献：国民衛生の動向 最新版

佐伯和子（2018） 地域看護アセスメントガイド（第2版） 医歯薬出版株式会社

群馬県の健康・保健・福祉に関する統計資料等

市町村の公式ホームページ

7. 準備学習に必要な時間，又はそれに準じる程度の具体的な学習内容

テキストや参考文献，インターネット等を活用して予習を行う。

8. 受講上の留意事項

1. 先修要件については，「履修要項・学生便覧」参照。
2. 公衆衛生看護活動の根拠となる法律・制度等に関して事前学習し，要点をまとめておくこと。
3. 学習目標を立て，実習で学びたいことを明確にすること。
4. 健康管理に留意し，やむを得ず欠席または遅刻する場合は，連絡を徹底すること。

9. 課題に対するフィードバックの方法

提出された課題は教員が確認して返却する。内容が不備なものは再提出を求める。

10. 卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目との関連

保健師教育課程必修科目であり，修得できない場合保健師国家試験受験資格が不可となる。

11. 該当する本授業は，以下の実務経験を活かして実施される

行政委託機関及び，医療機関での保健師としての勤務経験を活かして，実習指導を行う。